

6. F農園（大山地区、水田転作）

作型	春ねぎ(a)	夏ねぎ(a)	秋冬ねぎ(a)	合計 (a)
経営規模 (R4)	60	80	110	250
主要品種	項羽一本太、初夏扇 等			

労働力	合計	6人		内訳	男性	4人		女性	2人
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上		
		1人	2人	人	人	1人	2人		
作業時間	午前8時～午後5時 休憩時間：午前10時～10時15分、正午～午後1時30分、午後3時～3時15分								
出荷日量※1	183 箱/日								
作業効率※1	9.1 箱/人/時								
規格別出荷割合	2L	L	L4	M	A	優	3L		
(%) ※1	80.0	7.5	2.5	0.0	0.0	0.0	10.0		
作業項目	使用機材	作業スピード※2	作業環境※2						
			照度 (Lx)	騒音(dB)					
根切り	スーパーゼロ(根葉切) 1台	2,951 本/人/時	210	85					
葉切り									
皮はぎ	スーパーゼロ(皮はぎ) 1台、皮むき機 1台	1,056 本/人/時	431	96					
結束 2L	たばねら (電動) 2台	648 束/人/時	362	87					
L					474 束/人/時				
箱作り	—	— 箱/人/時	513	—					

※1 R5.12.4～12.9の出荷実績より ※2 R6.1.17に調査実施

●主な優良ポイント●

1. 作業場のレイアウト

- ・作業導線が一方向(U字、I字)であり、一連の動作となるため無駄が少ない。
- ・軽トラックを作業場内まで入れることで、コモの搬入、出荷等の作業の効率化を図っている。
- ・立位姿勢で作業を行うため、作業者の負担(特に腰)を軽減するため、すべての作業台の高さを同一に調整している。

2. 各作業の能率を上げる工夫

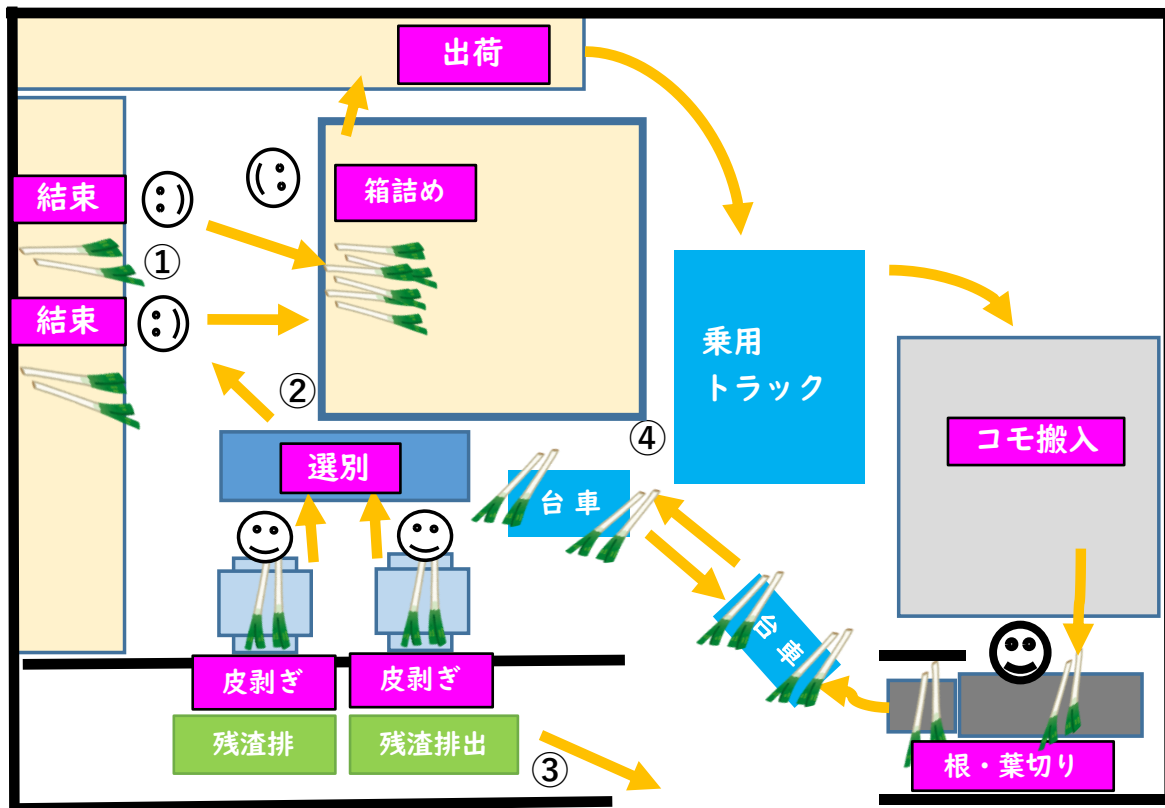
- ・2L、3L規格中心となる栽培に取り組み、選別、結束、箱詰め作業の効率化を図っている。
- ・皮はぎ残渣を入れるネット袋を大型のものにし、作業回数を減らしている。

3. 身体への負担軽減対策

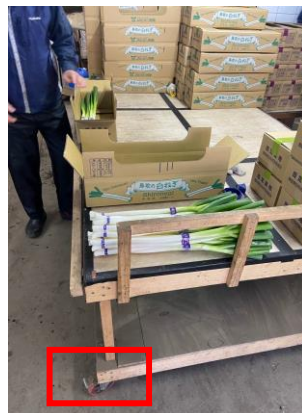
- ・作業軽減と効率化を図るため、箱詰め作業台等にキャスターを設置している。
- ・作業時の腰への負担を軽くするため、作業台の高さと調整している。

●作業場レイアウト図及び工夫箇所●

★作業場面積 約92㎡ (8.4m×11.0m) ★付帯設備：トイレ・休憩室・エアコン・扇風機



①全ての作業台を70cmに統一
誰がどの作業を行っても、体にかかる負担が軽減されるよう全ての作業台の高さを調節している。



②作業台等にキャスターを設置
ねぎを持ち上げずに移動させたり、箱詰め作業台等の移動が短時間かつ楽にできる。



③大型残渣入ネット袋を導入
傾ネット袋は重たくなるが、交換回数が減るので効率アップが図れる。



④作業動線は一方向
動線が交差しないよう（U字型またはI字型）各作業台を配置している。